

国際ロータリー第2580地区
ロータリー財団委員会
問い合わせ先：ガバナー事務所
E-mail office@rid2580.org

国際ロータリーのホームページ「<http://www.rotary.org>」より国際ロータリーおよびロータリー財団に関する情報がご覧いただけます。

但し、当地区の募集条件は、この「2019-20年度 国際ロータリー第2580地区ロータリー財団グローバル補助金奨学生募集要項」の記載事項が絶対条件です。

国際ロータリー第2580地区（東京都の一部および沖縄県）は、2019-20年度ロータリー財団グローバル補助金奨学生候補の募集を次の要項に従って行います。有資格者は奮って応募してください。

目的

国際ロータリーのロータリー財団グローバル補助金奨学生の主要な目的は、ロータリーの6つの重点分野（1. 平和と紛争予防/紛争解決 2. 基本的教育と識字率向上 3. 経済と地域社会の発展 4. 疾病予防と治療 5. 水と衛生 6. 母子の健康）のいずれかに該当する分野でキャリアを築くことを目標とする方を奨学金で支援し、将来的に持続的かつ測定可能な成果を生むことです。

奨学金の期間

1～2年間

奨学金の額

本人自身のエコノミー往復航空券代、授業料、教材費、学生寮二人部屋程度の下宿代、大学食堂程度の食費に対して、米貨30,000ドル以上を提供する。

（2次面接後に、合格者の人数、留学期間、留学国などを考慮し、地区ロータリー財団委員会が金額を決定する。）

募集人員

1～3名程度

応募資格

1. ロータリーの6つの重点分野のいずれかに該当する分野を履修すること。
2. 2019年4月までに大学課程を修了している者、または修了することが見込まれる者。
3. 海外の大学院レベルの教育プログラムで学ぶこと。
4. 2019年7月1日から2020年6月30日の期間内にスタートする新学期から留学を開始すること。
5. 優秀な学業成績をもつと共に、親善使節としての素質をもっていること。
6. 指導力、独創性に富み、順応性、思慮分別を持ち、目的に対し誠実であること。
7. 留学国の言語に熟達し、講義を理解し、講演し、報告書を作成することが出来ること。
8. 留学国の国情、国民性に関心と理解をもち、日本の歴史、地理、文化、時事問題に通暁していること。
9. 日本の国籍あるいは永住権を有すること。
10. 次のいずれかに該当すること。
 - ・応募時に国際ロータリー第2580地区内に居住、または本籍があること。
 - ・応募時に国際ロータリー第2580地区内に所在する大学または大学院に在学するか、あるいは、職場に勤務していること。

応募の資格なき者

1. ロータリークラブ会員並びにロータリー職員、またはその実子、継子、孫、兄弟姉妹、配偶者およびその他扶養者。
2. 当人または前項(1)に該当する者に受験資格を与える目的のためにロータリークラブを退会した者がある場合は、そのことによって資格は生じない。
3. 既に留学を開始している者。

奨学金の条件

1. 奨学金の授与にあたって、ロータリー財団の掲げる諸条件に同意すること。
2. 地区主催のオリエンテーションやロータリークラブの会合に参加すること。
3. 奨学期間終了後、速やかに必ず帰国し、地区内ロータリークラブに留学の成果を報告すること。
4. 留学中は所定の報告を定時に提出すること。(2ヵ月毎に動向報告書、12ヵ月毎に中間報告書、留学終了時に最終報告書を提出すること。)
5. 学業成績不良、不良行為の立証、報告の不提出、ロータリー財団の承諾を得ずに学業課程の変更、中途退学、留学国の語学に対する知識の不足、“親善使節”としての任務不行使、その他奨学金の条件を充たせなくなるような事態が発生した場合に奨学金は打ち切られる。

応募の期間・方法

応募期間は、2018年7月1日～2018年9月30日までとする。所定の応募申込書をダウンロードし、もれなく記入(顔写真貼付)し、語学力テストの結果を添付して、**2018年9月30日**までに国際ロータリー第2580地区のガバナー事務所へ郵送で提出すること。

(郵送先) 〒104-0031 東京都中央区京橋2-11-8 全医協連会館1階
国際ロータリー第2580地区ガバナー事務所
※持参禁止・9月30日必着・9月30日の消印無効

応募書類

1. 「国際ロータリー第2580地区2019-20年度ロータリー財団奨学金プログラム応募申込書」
2. 語学力テストの結果(コピー可)
 - *英語圏: TOEFL、IELTS等の成績表。
 - *英語圏以外: 該当する外国語能力評価の標準となっている語学力テストの成績表。尚、結果は取得日より1年以内のものが望ましい。
申請時に語学力テストの結果が手元にない場合には、その旨を記載した文書を同封すれば応募を受け付けます。

★応募書類は一切返却しません。

[ご参考]

- 2次面接時に以下の2点を提出いただきます。入手に時間がかかる場合には、あらかじめ準備を進めてください。
1. 教育者・上司等による推薦状1通(自由書式・枚数自由・和文でも英文でも可)
 2. 最終教育機関の成績表(和文でも英文でも可)

選考・面接

書類選考	2018年9月30日以降	地区補助金委員会による書類審査
1次面接	2018年10-12月	地区補助金委員会による面接試験
2次面接	2019年1月以降	地区役員による面接試験
本部審査	随時	ロータリー財団本部による書類審査

※面接日時は応募者各位に個別に連絡する。

※面接は日本語で行う。筆記試験は行わない。スカイプ等を利用したビデオ通話や音声通話による面接は行わない。

2 次面接合格から本部審査までの流れ

2次面接後にホストロータリークラブ（留学校周辺のロータリークラブ）を探し、ホストクラブが決まった場合のみ、ロータリー財団本部へ提出する申請書のオンライン作成に進むことができる。特に留学生に人気の地域（ロンドン、ボストンなど）は世界中から留学生が集まるため、ホストクラブが見つからない場合がある。

また、ロータリー財団本部への申請時に、大学院の入学許可証を提示する必要がある。語学テストのスコアを上げることを条件とした入学許可は認められない。

注意

- ・ロータリー財団本部の承認前に支払った費用については、奨学金の対象にならない。
- ・『ロータリー財団 地区補助金とグローバル補助金 授与と受諾の条件』をご覧ください。
- ・問い合わせや書類提出は、国際ロータリー第 2580 地区ガバナー事務所へすること。各ロータリークラブへは問い合わせの連絡をしないでください。各ロータリークラブが窓口指定されている地区もあるようですが、当地区は窓口を国際ロータリー第 2580 地区ガバナー事務所（地区ロータリー財団委員会）に一本化しております。
- ・2019年8月、9月、10月のいずれかから就学を開始する場合、2019年6月30日までにロータリー財団本部に申請書を提出する必要があります。

地区とは、国際ロータリーの管理の便宜上結びつけられた、一定の地理的な市域内にあるロータリークラブのグループです。

2018年1月末日時点で、200以上の国と地域に539地区があります。

日本は**34地区**に分かれています。

国際ロータリー第2580地区は、東京の一部と沖縄県（緑部分）がテリトリーです。当地区には**70ロータリークラブ**が所属しております。



*東京都のうち、江戸川区、葛飾区、足立区、墨田区、江東区、荒川区、台東区、千代田区、文京区、北区、板橋区、豊島区、新宿区、中野区、練馬区、武蔵野市、西東京市、東久留米市、清瀬市、小平市、東村山市、東大和市、武蔵村山市、福生市、あきる野市、青梅市、羽村市、西多摩郡が第2580地区です。

上記以外の東京都は、
国際ロータリー第2750地区
に属します

<https://rid2750.org/trf/>